



子どもの異性への目覚め

～ゆれる思春期の子どもたち～

2弾ステージ③S

大人へと成長していく
一人の人として 『子どもの性に向き合おう』



まだまだ子どもだと思っていたのに
なんだか急に大人びてきた感じがする。
朝の忙しい時間 食事よりも
鏡の前での準備に時間をかけている。
時々ドキッとする表情も・・・。
いつまでも子どもじゃないのよね・・・。

本日の進行役

みんなのルール

- ・話をしたくない時は、聞いているだけでもいいですよ。
- ・うまく話ができなくてもいいですよ。
- ・他の人が話している時は、みんなで聞きましょう。
- ・プライベートな話は外へ持ち出さないようにしましょう。
- ・この時間を楽しみましょう。

～お願い～

- ・携帯やスマートフォンはマナーモードまたは電源 OFF にご協力ください。

「こんなとき、どうしますか？」

エピソード1



サトシ君は中学3年生。

最近、おしゃれに目覚めたのか、朝ごはんよりも髪型に時間をかけるようになってきました。また、携帯を片時も離さず、コソコソと使っている様子も気になっていました。



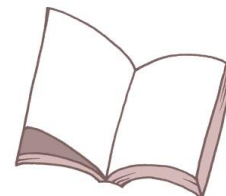
ある日、買い物していると、近所の人から、
「お宅のサトシ君、最近よく女の子と歩いているのを見かけるわよ。」
と教えられ、ビックリ…。
「え～！？本当にサトシでした？人違いじゃないですか…？」
「確かにあれは、サトシ君よ。手をつないで仲良く歩いていたわよ。」
「……………!! (ショック)」



サトシ君のお母さんが考え込んでしまった原因は、ネットニュースで『小中学生の妊娠が増えている!!』という記事を読んでいたから…。

『まさか我が子が!』『いやいや大丈夫…まだ早いわ?』『でも心配…。』
黙って部屋に入っちゃダメ、疑うようでイヤだな、と思いつつ、親の責任だからとお母さんはサトシ君の部屋に入ってみました。

そうしたらベッドの下から成人雑誌のようなものが…。
お母さんは、かなり動揺してしまいました。



ワーク1

あなたがサトシ君のお母さんや家の人だったら、どうしますか？



ワーク2

思春期の子どもたちの『性（成長）』と、どんな風に向き合ったらいいのでしょうか？



成長する我が子へ、どう伝える!?

家庭で伝える『性』のはなし
～性の低年齢化，出会い系サイト等～

今は、インターネット等を通じて『性』の情報にカンタンにアクセスできてしまう時代です。『田舎だから、都会だから、そんな出会い系なんて関係ない』と言い切れる時代ではないのです。成長過程における『性』への興味は否めません。インターネットで検索すると、過激なマンガや動画等がたくさんあります。SNS等を使った顔の見えない“友達”とのやりとりから、犯罪に巻き込まれるというケースも増え続けています。



思春期の子を持つ親として、若年妊娠のリスクや緊急避妊という知識だけでなく、性病やHPV（ヒトパピローマウイルス）による子宮頸がん・陰茎がんなどの情報も子どもの身体を守るためには必要な知識です。子どもにうまく伝えるため普段から関係づくりも大切です。

「こうすればOK!」というような1つの正解は残念ながらありません。ケースバイケースと言ってもいいでしょう。親の役割として「情報を得ること・知る・学ぶこと」「冷静に伝えること」大事です。

☆ 思春期の子どもとの親として…

○思春期の性の問題を考える時、大切なのは…

「親であることに自信をもつこと」

「子どもは大切な存在、信じること」

問題が起きた時こそ

かかわるチャンス!!

いろんな人にかかわってもらうことが大切。
学校、専門機関、医療機関、親戚、友だち…
一人で悩みを抱えないでね!



「クールダウンを」

感情的になりそうなら…ちょっと離れて落ち着いてから…。
イライラしている子どもに感情的に言っても心に届きません。

ぐっとガマン



自分もあんな時期あったな…。



向き合って伝えよう



「ともに考える」親子でも「男同士」「女同士」の関係で

子どもは、身体のことや異性のことについて言葉にして伝えることは大変なことです。親の思いや意見を伝える前に、「子どもの思い」をしっかりと聞き、どうしたら良いか一緒に考えてあげましょう。

子どもが話すまでじっと待つ



うなずいて聴いて



話しているうちに何かに気付くかも



「大人扱い」

親から子どもに相談をもちかけることで、“頼りにされている”と感じて、自分を見直すきっかけになるかもしれません。家族の一員として相談されることは、子どもにとって嬉しい時期だと思います。

親から大人扱いされると、
なんだか嬉しい…。

「相談したいことがあるんだけど」

「最近、弟の様子が…」

「意見聞かせてくれて、
“ありがとう”」



「兄弟と比べない」

子ども一人一人との時間を作ろう。
1対1になる状況を作り、“親を独占”する時間を…。

2人で夕食



2人でドライブ



2人でショッピング



だれもが悩みや不安を抱えながら子育てをしています。完璧な子育てなんてありません。
あなたなりの親子関係を築いていきましょう。わたしたちはみなさんをいつも応援しています!!

～宮城県家庭教育支援チーム～